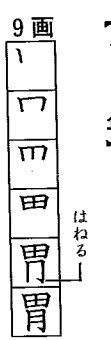
胃

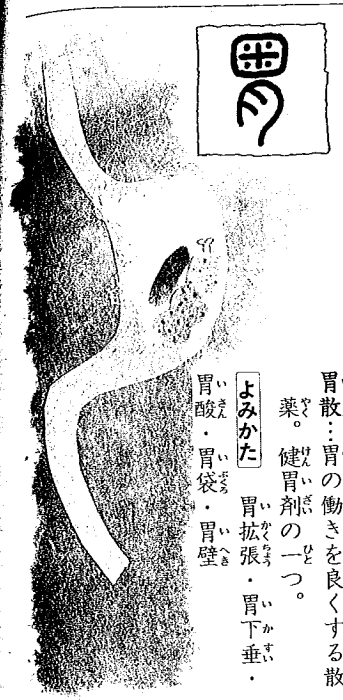
【4年】

9画



くん　おん イ

なりたち　食べ物（米）の入った胃袋の形を表した囲の簡略化された田と、肉体の意味の月（にくづき）との会意字。音のイは囲（まわりを取りかこむ）による。消化器官である〝いぶくろ〟のこと。



いみとじゅくご

▼いぶくろ。

胃腸…胃と腸。また胃や腸など消化器官の呼び方。例胃腸病

胃液…胃から分泌される強い酸性の消化液。

胃炎…胃の粘膜が炎症を起こす病気。飲みすぎ・食べすぎ・ストレスなどにより、起こる。

胃弱…胃の働きが弱いこと。胃腸病の総称。

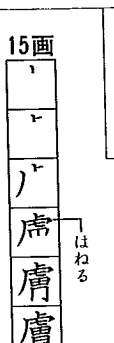
健胃…胃腸の働きを良くすること。例健胃剤

胃散…胃の働きを良くする散薬。健胃剤の一つ。

よみかた　胃拡張・胃下垂・胃酸・胃袋・胃壁

膚

15画



くん　おん フ

なりたち　めしびつを表した盧（ろ）と、肉体の意味の月（にくづき）との会意形声字。めしびつが御飯を中に入れて保護するように、体を取りまいて保護する〝はだ〟を表した字。

いみとじゅくご

▼はだ。

皮膚…体の表面をおおって、保護している組織。表皮・真皮・皮下組織から成っている。

完膚…完全な皮膚。傷が無い皮膚。例完膚なきまでにやっつける。（徹底的にやっつける。）

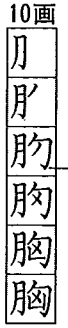
髪膚…髪と皮膚。また、体全部。

用例身体髪膚、これを父母に受く。敢（あ）えて毀傷（しょう）せざるは、孝の始めなり。（体は父母が自分に与えてくれたものだから、親孝行の第一歩は、その体を傷つけず、大事にすることだ。「孝経」の中の言葉。）

胸

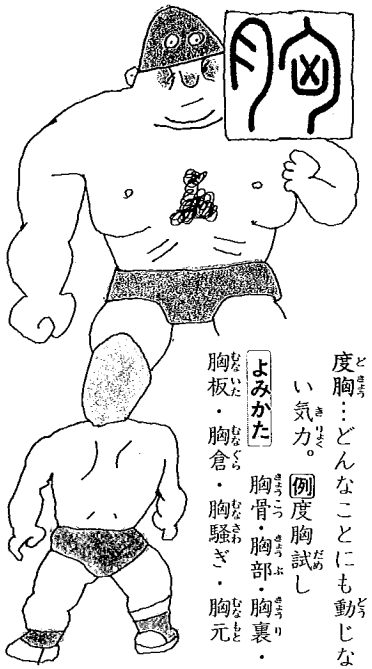
【6年】

10画



くん　おん キョウ　むね・むな

なりたち　包む意味の勹と、肉体の意味の月（にくづき）と、凶との会意形声字。大きな肺臓を包んでいる〝むね〟を表した字。転じて、〝心〟の意味に用いられる。



いみとじゅくご

▼むね。

胸囲…胸まわりの長さ。

胸像…胸から上の人物の彫像。

▼心。

胸中…心の中。胸のうち。

用例胸中お察しします。

胸奥…心の奥。人の知らない胸のうち。

胸襟…心の中。「襟」は衣のえり。用例胸襟を開く。（心の中をうちあける。また、うちとける。）

胸算用…心の中での計算。

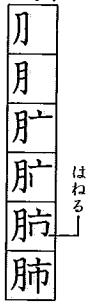
度胸…どんなことにも動じない気力。例度胸試し

よみかた　胸骨・胸部・胸裏・胸板・胸倉・胸騒ぎ・胸元

肺

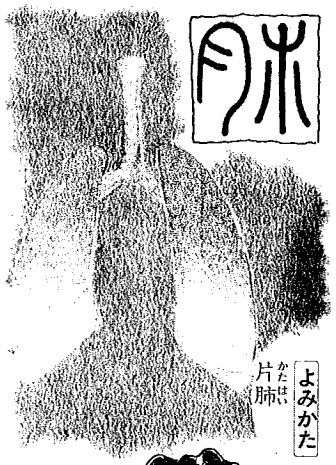
【6年】

9画



くん　おん ハイ

なりたち　肉体の意味の月（にくづき）と二つに分かれる意味の屮（中と八との会意形声字）との会意形声字。二つに分かれている内臓の〝はい〟を表した字。〝肺臓〟のこと。転じて、〝心〟の意味に用いられる。



いみとじゅくご

▼はい。

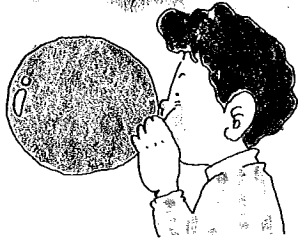
肺活量…思い切り息を吸い込んでから、出せる限り出した時の空気の量。

肺病…肺の病気。主に肺結核をいう。

肺結核…肺に結核菌が入って起こる病気。

肺炎…肺に肺炎菌が入って起こる病気。

▼心。

肺肝…❶肺と肝臓。❷心。まごころ。用例肺肝を砕く。（心をつくして考える。）

よみかた　肺臓・肺門・肺葉・片肺